

旋回中の吊り荷や重機アームの接触事故が発生

- ・重機の吊り荷やアームが現道上の車両等と接触し、損傷させる事故が連続して発生しました。
- ・重機の旋回時は上空を確認し、吊り荷の状態にも注意を払ってください。

通行車両に接触

<事故概要>

- ・非常警報板アームを吊り上げ旋回中、吊り荷が走行車両のフロントガラス上部に接触した。
- ・介錯ロープを引いていたが、吊り荷の回転に負けた。

<事故原因>

- ・吊り荷のふれ等を予測していなかった。

<事故防止対策案>

- ・吊り荷がふれないよう慎重に作業を行う。



事故車両写真

現場状況写真

車両用信号機に接触



事故現場写真

事故現場写真

<事故概要>

- ・ホイール式杭打ち機移動の際、アームが上空の車両用信号機に接触し、信号機を破損した。

<事故原因>

- ・重機オペレータと監視員の上空への注意が不足していた。

<事故防止対策案>

- ・重機移動の際は、重機の姿勢と上空の障害物を必ず確認し、対策を講じる。

計測機器に接触

<事故概要>

- ・バックホウで埋戻し作業中、アームが計測機器（温度、湿度計）に接触し、破損した。

<事故原因>

- ・狭い施工ヤードで、慎重な作業を怠った。

<事故防止対策案>

- ・重機運転の際は、慎重な作業を行う。



計測機器

破損状況

エンジン部のファンに巻き込まれ、指を切断

<事故概要>

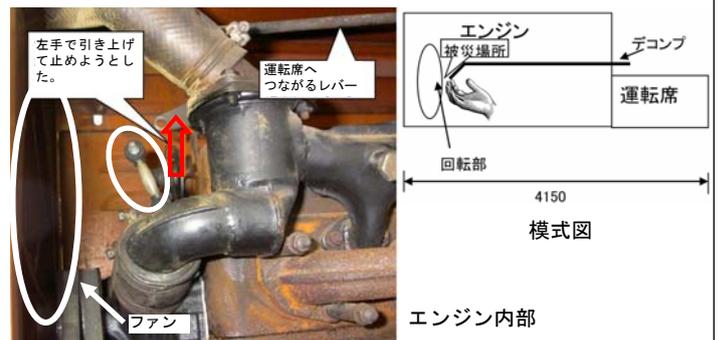
- ・ケーブルクレーンのエンジンを停止するため停止装置（デコンプレッサー）を操作したが、レバーが破損したため、エンジン室内のレバーで止めようとしたが、誤ってファンに左手指を巻き込まれた。

<事故原因>

- ・動いているエンジン内部に手を入れたこと。

<事故防止対策案>

- ・エンジン部の日常点検を行う。
- ・非常時の対応を作業手順で明確にする。



左手で引き上げて止めようとした。

運転席へつながるレバー

ファン

エンジン内部

(裏面につづく)

埋設事故が続発

- ・先月号（第205号）でも掲載しましたが、埋設事故が2月に入っても続発しています。
- ・試掘等の事前調査で埋設状況を必ず確認してください。

水道管のボールバルブを破損

<事故概要>

- ・管路設置のため掘削作業中、手掘りで水道管の位置を確認した後、バックホウで掘削したところ、バルブを破損した。



事故現場写真

事故現場写真

バックホウで水道引込管を破損

<事故概要>

- ・舗装復旧作業中、バックホウで水道引込管を破損した。引込管については位置・深さが不明確であったにも関わらず、手掘りによる確認を行っていなかった。

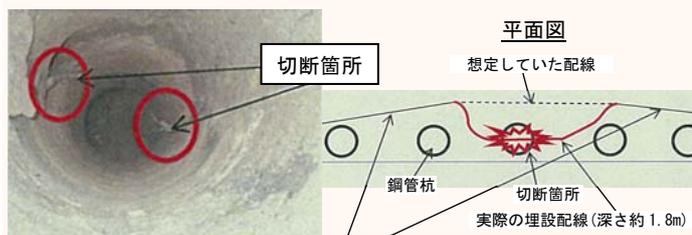


事故現場写真

照明配線を断線

<事故概要>

- ・鋼管杭打設によって、照明配線を断線していたことが判明。事前に試掘を行っていたものの、実際の配線位置が想定と大幅に異なっていた。



事故現場写真

光ケーブルを切断

<事故概要>

- ・路面を全幅員切削(5cm)時、中央分離帯に埋設されていたケーブルの一部が分離帯からはみだしていたため、その箇所を切断した。



事故現場写真



事故現場写真

ハンマーで手を打撃

<事故概要>

- ・大型ハンマーの打撃により橋梁の既設フィラープレート（FILLER PLATE）の撤去を行っていたところ、補助していた作業員が、打撃箇所にながし手を出し被災した。

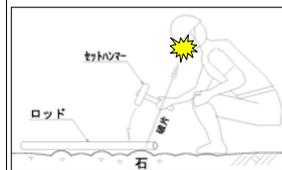


事故現場写真



ハンマーで打撃中、破片で負傷

削孔用ロットの詰まりを取り除くため、ハンマーで打撃を加えていたところ、誤って地面を叩き、跳ね返ってきた破片により目を損傷するという事故も発生しています。



改善後写真

<事故防止対策案>

- ・作業手順を遵守すること。
- ・不安全行動がないよう、事前にKYを行う。

3月1日から3月31日は建設業年度末労働災害防止強調月間です

- ・平成23年3月1日から平成23年3月31日は建設業年度末労働災害防止強調月間（主唱：建設業労働災害防止協会、後援：厚生労働省・国土交通省）です。
- ・年度末においては多くの工事が完成時期を迎え、作業が輻輳するなどの理由から、事故が増加します。
- ・作業手順書・KY事項の確実な実施、ヒヤリハット運動、一声かけ運動等により、事前の事故防止に努めましょう。

